

福島ロータリークラブ会報

vol. 26


インスピレーションに
なろう
2018-19RI 会長 パリー・ランシ

<http://www.f-rotary.com/>

2019.3.7 thu

18-19 年度スローガン「融和と進化」



福島ロータリークラブ Facebook ページ

<https://www.facebook.com/fukushimarotary/>


【事務所】福島市栄町 5-1 ホテル辰巳屋 7F

【例会日】木曜日 12:30

【TEL】024-524-1010

【FAX】024-524-1011

【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

info@f-rotary.com

本日の
プログラム

福島学院大学 RAC 2018-19 年度 活動報告

福島学院大学 RAC 部長 神田 千皓 様

新会員スピーチ

パワースタッフジャパン 代表取締役 山崎 高寛 会員

会長あいさつ



2018-19 年度会長 浦部 博

みなさんこんにちは、きょうは後ほど「福島学院短期大学ローターアクトクラブ」さんから活動報告を頂くことになっておりますが、この機会ですから RAC について、少し復習をしておきたいと思います。

RAC については、みなさんご存知の通り、18 歳～30 歳までの（やる気のある青年男女）の方々と、ロータリアンのような地域のリーダーと交わりながら、リーダーシップや、職業スキルを磨くこと、あるいは、地域や世界のさまざまな問題について考えたり、ボランティアを行うといった「奉仕活動」を通じて、優れた社会人になることを学ぶクラブということになります。

概ねクラブの所在地にある学校の学生・若い社会人が対象ということになります。IAC も RAC も「各ロータリアンは青少年の模範」とならなければならないということです。みなさん心してご精進ください。

RAC が創立されたのは、約 50 年前 1968 年 3 月 13 日、アメリカのノースシャーロット RAC が最初で、当時の RI 会長は「世界の若者が、高い道徳観を持った大人になる事が重要で、若者が正義・自由のために活動できる環境をロータリーが積極的に支援しなくてはならない」と述べています。そこで、3 月 13 日を含む 1 週間が「世界ローターアクト週間」ということになっております。

現在、世界には約 10,900 の RAC があって、約 290,000 人のローターアクターが活躍しているそうです。福島ロータリークラブでは、1986 年 5 月 14 日に「福島学院短期大学ローターアクトクラブ」を創設しました。

本日の新会員スピーチは、地元のパワースタッフジャパンの山崎高寛会員です。

また、損保ジャパンの佐藤康太郎会員が 4 月 1 日にご栄転のため退会することとなり、ごあいさつを頂きます。

例会次第

開会点鐘 浦部 博 会長

国歌斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 茂田士郎 会員

「四つのテスト」唱和

綾部健吾 会員

会長あいさつ

浦部 博 会長

お客様並びに来訪ロータリアン紹介

福島学院大学 RAC 顧問 佐藤祐貴 様

福島学院大学 RAC 部長 神田千皓 様

福島学院大学 RAC 次期部長 神山千里 様

3 月誕生祝い

RAC 年間活動資金 贈呈

福島学院大学 RAC 部長 神田千皓 様

退会あいさつ

佐藤康太郎 会員

幹事報告

増子 勉 幹事

■ IT 戦略・雑誌小委員会

*「友」3 月号紹介

佐藤朋幸 委員

■ プログラム・ニコニコ BOX 小委員会

ニコニコ BOX 担当

箱岩 偉 小委員長



■ 本日のプログラム

閉会点鐘

浦部 博 会長

例会プログラムのご案内

3 月 21 日 (木) 祝日の為休会

3 月 28 日 (木)

18:30 ~ 辰巳屋

【創立記念夜間例会】

福島学院大学 RAC 2018-19 年度 活動報告

福島学院大学 RAC 部長 神田 千皓 様



8月



納涼家族夜間例会にご招待いただき、お世話になっているロータリアンの皆様と共に、活動についてのお話や、美味しいお食事を楽しませていただきました。

8月



8月17日に行われた福島とろうろ流し大会で、福島中央ローターアクトクラブと共に、来場者対応などのお手伝いさせていただきました。

10月



猪苗代湖の水草清掃活動に参加いたしました。文化祭前日だったこともあり、当クラブからは1名しか参加することができませんでした。美しい福島、猪苗代湖を守るために、次年度からはより積極的な参加を目指します。

10月



10月24日、世界ポリオデーに合わせ、RJ が協力している映画、「プレス しあわせの呼吸」チャリティー上映会が行われました。私たちは、会場での募金呼びかけのお手伝いをさせていただきました。

12月



ローターアクト活動への理解を深め、今後クラブとしてさらなる活動の充実をはかるため、福島中央ローターアクトクラブの例会を見学し、勉強させていただきました。また、交流を深める良い機会にもなりました。

12月



新世代会議に参加いたしました。第一部では、KAKE COMI 発起人・代表である鴻巣麻里香様のご講演を拝聴いたしました。第二部では、インターアクトの学生らと共に、「ふくしまから伝えたいこと・ふくしまから始めたいこと」というテーマで意見を交わしあい、大変勉強になった一日でした。

12月



今年も年忘れ家族夜間例会にご招待いただきました。これまでの活動や今後のことについてロータリアンの方とお話しし、下半期への活動モチベーションが高まりました。

2月



第34回三者合同新世代会議に参加いたしました。「福島の魅力を考えよう」というテーマで、高校生・ロータリアンとディスカッションをし、住むまち福島・訪れるまち福島としての魅力など、様々な視点から福島について考えることができました。

新会員スピーチ

パワースタッフジャパン 代表取締役 山崎 高寛 会員



この度、歴史と伝統ある福島ロータリークラブへ、昨年の7月に入会させていただきました株式会社パワースタッフジャパンの山崎高寛と申します。諸先輩の前で大変緊張しておりますがこの様な機会を与えて頂きましてありがとうございます。私の事を知らない方も多いかと思いますので自己紹介を中心に、生い立ちや仕事を通してのこれまでの出来事、そして入会までについてお話させていただきます。

私は昭和41年3月14日生まれ、現在52歳で妻と子どもが3人おります。生まれは東京で、父の仕事の関係で中学1年から高校3年まで鹿児島で過ごし、大学から東京へ上京し卒業後は、当時あまり知られていなかったリクルートグループへ入社しました。

当時のリクルートグループは事業拡大の真っ最中で、CMでよく流れていた「24時間戦えますか」のモデルの様な会社で、事務所の地下に宿泊できるシャワーや、カプセルルームが完備してある事業所があったり、私も休み関係なく深夜まで仕事をし、終電で帰れない事も多く、泊まったり同僚と飲み明かしたりしていました。目標を達成すると賞金がもらえたり、海外旅行へ行けたりと、初めて海外旅行をしたのもこの時で、学生気分の延長で時間を忘れ、毎日目標を追いかけて働いていました。

グループ社内にはアルバイトさんが全体で7割近くいて稼ぎ頭となり、特に頑張っているアルバイトさんを、頭文字のGとAを取りGA職と名づけたり、社内の全ての人を肩書ではなく「あだ名」や「さん」づけで呼ぶルールがあり、創業者の江副浩正社長も、みんなから江副さんと呼ばれていました。

フレックスタイムやクールビズのはしり、役職のカタカナ化や、年俸制の導入など、新しい手法をいち早く取り入れていた企業グループで、目の前で次々と仕組みや組織が変わったり、社員の企画がそのまま新規事業や新会社になったりと、行き過ぎたリクルート事件も途中経験しましたが、大変刺激を受けた

サラリーマン時代でした。

退職金が多く貰える早期定年制度も当時からあったり、若くして退職する人が多く、退社はいつしか「卒業」と呼ばれる様になり、自分もいつか辞めなければと意識し始めた入社9年目の時に、妻の実家が福島で事業を行っており、義理の父から、新規事業を行うので手伝ってほしいとお誘いをいただきました。

ちょうど、長男も幼稚園に入る時期で、たまに帰省し実感していた福島の自然、美味しいお米、旨いお酒、そしてスキー場に自宅から直接スキーウエアで行けるという素晴らしい環境に、子どもたちにとってもきっと良いのではないかと決断し、会社を辞めて、ちょうど30歳の時でしたが家族4人で福島へ引っ越し、妻の実家の事業を手伝う事にしました。

福島に来て4年半が経ち、妻の実家の後継者も立派に育って、義理の息子ではありましたが、元々他人である私は、この会社についていなくても居残る事は、福島の親族や自分の家族にとって将来的にはよくないのではないかと思ひ巡らし、以前残っていた退職金を元手に、親族から完全に独立したパワースタッフジャパンという、当時需要のあった福島の工業団地のお客様の業務を請負う会社を設立して、義理の父に理解してもらい、会社を退社しました。

独立して今年で19年目になりますが、お客様やスタッフにも恵まれ、現在では福島県以外にも事業を展開させて頂きまして、業態別にPSJサービス、FULLラインナップ、FULLラインナップテクニカルという会社を設立して、事業としては人材派遣業、職業紹介業、製造業、コンビニエンスストア事業、企業主導型保育事業、警備業、建設業、ソフトウェア開発、商業環境施工業、車両運行管理事業などを、北は札幌から、南は横浜まで、現在25事業所で業務を行わせて頂いております。

ここまで来ているのは、サラリーマン時代に影響を受けた企業理念「社員皆経営者主義」と「自ら機会を作り出し機会によって自らを変えよ」という潜在意識の中で、組織や職務との関係性に基づいた自主的な貢献意欲の創出と、その様なチームを会社という形で増やして行ければさぞかし楽しいだろうなあという想いから周りに声をかけて、賛同し集まってくれた仲間や社員メンバーが能力を発揮し続けてくれているおかげだと思っています。社員の皆様には本当に感謝しております。

しかし、これまでは何度か挫折と節目がありました。

現在も景気変動で影響を受ける事もありますが、特にリーマンショックでは全体の売上が1/3になり、経営危機をむかえ、会社の経営や存続の困難さを痛感しました。

東日本大震災では、自然災害に対する人間の無力さ、今も続く放射能問題、危機管理の重要性、社員、家族との絆の大切さを考えさせられました。

しかし自分の中で一番大きかった出来事は、会社設立1年後におきた7歳の娘の死でした。

脳幹部グリオーマという10万人に1人が発症する、脳の中心部に腫瘍ができる小児がんを患いました。小学校入学を前にして、元気だった娘が少しずつ様になり、病院へ連れて行ったところ即日入院。福島医大へ転院し詳しく検査した結果、「余命2ヶ月の脳幹部グリオーマ」と診断されました。そんな事はありえないと可能性を信じて、東京の国立がんセンターにMRI画像を持って見てもらいましたが、医師から「手術は不可能で治療をしてももって一年、余命を過ごす子どもが読める本が八重洲ブックセンターに売ってるから買ってあげたらどうか」と更に強烈な告知と提案をされたのを今でも忘れられません。

その後、福島で家族は病院と自宅に分離され、娘の闘病生活が始まりました。

切開手術が不可能な部位の為、放射線と抗がん剤の治療を中心に行いましたが、だんだんと娘の体が動かなくなり具合が悪化し、診断どおり1年は持ちましたが最後はドラマの一場面のように、病室で娘の呼吸と心臓が止まり、妻は泣き崩れかけがえない一人娘を亡くしました。

何か悪いことをしてしまったのか、何のために引越して来て独立したのか、そのために家族が犠牲になったのかなど、自問自答する中で、当時友人に紹介された神田昌典氏の「告白」という起業経営者が陥る危険性の本を読み、家族に起こる 齟齬や犠牲、影響の大きさを思い知らされました。

こうなる前に娘に何かできたはずだったと、反省や後悔と

ともに、仕事や人生の意味を問い、深い悲しみと喪失感で仕事も手につきませんでした。

ただ救われたのは、私はクリスチャンで教会に行っており、子どもたちも教会の日曜学校に通っていたため、天国という存在を知っていました。残された小3の長男が、落ち込んでいる私に「妹はきっと楽になったんだね、またいつか天国で逢えるんだよね」との純粋な言葉に「そうだね」と答え、いつまでも悲しんでいてはいけな。家族のためにしっかりと立って、苦しみを乗り越えた娘とまたいつか天国で会える日まで、使命を全うし頑張らないといけなと気づかされ、辛く厳しい時もありますが、その原動力によってこれまで歩んで来れていると思っています。

脳幹部グリオーマという病気は、子どもの発症率が高く、現代の医学でも未だ直すことができず、今でも10万人に1人が発病し、これまでに沢山の幼い命が失われております。医師も加わり、新しい研究発表や、患者や家族を支えるシンポジウムがやっと2年前から東京で開催され、私も参加しておりますが、この病気がいつの日か完全に治る治療法が見つかる事を心より願っております。

ロータリークラブへの入会は、いろんな方からお声をかけて頂いておりましたが、先程お話ししましたが、キリスト教会にも奉仕というものがあ、言葉には馴染んでおりましたが、私はまだ仕事も忙しく、人のために奉仕できるような人間ではないとお断りしていました。

娘の葬儀の時に、当時所属していた準備や受付などでも大変お世話になりました福島青年会議所の同年代のOBで仲良くさせて頂いておりました現福島ロータリークラブの皆様や、その中でも特に金子與志人さん、相良元章さんからお誘いを頂いておりました。昨年相良さんが役員という事から再度ご連絡頂き「山ちゃん、福島ロータリークラブは入れない人もいる。入るなら自分が理事のこのタイミングしかない。これがラストチャンスです」と言われて、そろそろなのかなあと悩んでいたところ、他の先輩からロータリーはただの奉仕ではなく「職業を通して社会のニーズをほぼ完全な形で満たせるよう努力を重ねて、それによって、自己の職業の品位と道德水準を高め、社会から尊重される存在にしてい」いわば仕事を通して何が出来るか、職業奉仕を学ぶ場である事を教えられ、ずっと胸に落ち、それなら何かできる事があるのかもしれないと迷いは取り去られ、この度ご承認を頂きまして入会させていただく事となりました。

まだまだロータリークラブの事は分からない事が多い未熟な者でございますが、皆様方のご指導ご鞭撻を賜れば幸いです。

本来ならば人材関連の今課題となっている人材不足対策などのお話をすべきだったかと思いますがこの様なスピーチになってしまう申し訳ございませんでした。

人材でお困り事がございましたら個別にご相談賜れば幸いです。あらためてこの様な機会を与えて頂きまして感謝申し上げます。

最後までご静聴頂きまして有り難うございました。

「ロータリーの友」3月号のご紹介 IT戦略・雑誌小委員会 佐藤朋幸 委員



【注目記事】 ●横組みP7-13 特集 水と衛生月間 世界中に安全な水を

3月22日は「世界水の日」と国連が定めています。

ロータリーでも「水と衛生」は6つの重点分野の1つ。日本の地区、ロータリークラブが世界で、地域で取り組む活動を紹介しています。

例会変更のお知らせ

- 福島北RC、次週3/12(火)の例会は3/9(土)の新会員オリエンテーションに振替休会になっております。

その他のお知らせ

- 3/9(土)午後3時より吉川屋にて新会員オリエンテーションが開催されます。当クラブからは阿久津パストガバナー、古俣ガバナー補佐、増子幹事、菅野分区幹事、菅沼次期幹事、後藤浩之会員、猪島光典会員、友田久也会員、江波恒夫会員が出席されます。
- 分区行事の親善ボウリング大会、親善ゴルフ大会のご案内をしております。多数のご参加をお願い致します。
- 3月号のガバナー月信の表紙に安藤錬雄会員の写真が掲載されました。ご覧ください。
- 3月ロータリーレートは2月同様1ドル110円になります。

退会あいさつ

佐藤康太郎会員が、4/1付けで損害保険ジャパン日本興亜(株)茨城自動車法人営業部部長としてご栄転されます。

私のひとこと



菅野 晋会員

今月の、3月26日から5月6日まで、福島県立美術館で、福島民友新聞社創刊125周年と福島中央テレビ開局50周年事業の東日本大震災復興祈念・伊藤若冲展が開催される。今回の伊藤若冲展は、国内外から集められた作品約100点を紹介する単独展となっている。伊藤若冲が、天明の大火で焼け野原になった京都を見た、復興に寄せた気持ちを、震災で大きな被害を受けたこの福島で紹介する予定となっている。

前回2013年に、同じ福島県立美術館で開催された、ブライスコレクション「若冲がきてくれました」展は、大変な盛況で15万6千人が訪れた。

ちなみに、2016年4月に東京上野公園の東京都美術館での、生誕300記念・若冲展では、44万6千人もの人が訪れ、待ち時間が最長5時間を超え、前売り券を買った人が入場出来ないなどの混乱を招いた。

今最も集客力の高い伊藤若冲展が、この福島市で単独の展覧会が開催される。時期もちょうど10連休と重なり、県内外から多数の人が訪れる事となり、6月開催の東北絆まつりと並んで、今年の県内最大のイベントとなるであろう。

ロータリー会員の皆様は、混雑を避けて会期初めに行くのが賢明でしょう。

3月誕生祝い ~おめでとうございます~



三宅 喬 会員 昭和13年3月6日	佐藤 豪一 会員 昭和34年3月25日	渡邊 又夫 会員 昭和10年3月29日
山崎 高寛 会員 昭和41年3月14日	大沼 健次 会員 昭和17年3月29日	紺野 晴郎 会員 昭和30年3月31日
安藤健次郎 会員 昭和20年3月15日		

ニコニコBOX 報告

本日のニコニコBOX投入額 22件 ¥44,000 累計¥1,245,000

[報告] 箱岩 偉小委員長

佐藤 康太郎 会員

今回の人事で異動することになりました。皆様からのご厚情に心より感謝申し上げます。微力ながらこれからも福島の復興にご協力していく所存です。

ありがとうございました。

鈴木 仁 会員

朝ドラ「エール」決定おめでとうございます!!放送開始まではまだ間がありますが、様々な機会をとらえて盛り上げていきたいと思いますので、どうかよろしくお願い致します。

坪井 大雄 会員

NHK朝ドラ「エール」決定!福島の街づくり、観光にとって、大きなきっかけ大きな力になることまちがいなし!です。鈴木局長に大感謝です。

幡 研一 会員

暖かかったり寒かったり、体調管理に気をつけましょう。

中山 興 会員

三寒四温と気温の上下がありますが、季節は着実に春に進んでいるように思えます。Spring is just around the cornerです。福島の桜を心待ちにしております。

小原 敏 会員

先日行われた本会主催「信天山から見た星空ライブイベント」に福島東稜高校が協力させて頂く機会を与えて頂きありがとうございました。

ありがとうございました。

佐藤 徹 会員

4月1日付けの異動はありませんでした。4年目突入です。引き続き宜しくお願いします。

茂田 士郎 会員

南アフリカのケープタウンの近くの沿岸地帯にブドウ畑があり、そのワイナリーでワインが作られているようです。南アフリカは気候が温暖で比較的高地が多く穀物や果樹の栽培に適しているようです。西に大西洋、東にインド洋があり海産物も豊富です。何よりも金、プラチナ、ダイヤモンドなどの貴金属やクロム、バナジウムなどのレアメタルの産出量が世界一という鉱山大国なのです。それでもまだ政治的、文化的、経済的に一流の国とは云えないようです。(4)

渡邊 又夫 会員

庭の紅梅、白梅が満開です。84歳、誕生祝いありがとうございます。

紺野 晴郎 会員

誕生日お祝いありがとうございました。

クラブ会員より 増子 勉/土屋敦雄/反後太郎/白岩康夫/佐藤良智/佐藤美奈子/佐藤朋幸/後藤浩之/五阿弥宏安/菅野晴隆/岡田新也/安藤健次郎